

| | | | | | |
|---|---|--------------------------|--|---|--|
| Course number | | U-LAS70 10001 SJ50 | | | |
| Course title (and course title in English) | ILASセミナー：阿蘇で観る大地の営み ILAS Seminar :Dynamic earth as observed in Aso Caldera | | Instructor's name, job title, and department of affiliation | Graduate School of Science Professor,OOKURA TAKAHIRO Graduate School of Science Associate Professor,YOKOO AKIHIKO Graduate School of Science Assistant Professor,ISHII KYOKA | |
| Group | Seminars in Liberal Arts and Sciences | | Number of credits | 2 | Number of weekly time blocks 1 |
| Class style | seminar (Face-to-face course) | Year/semesters | 2025・First semester | | Quota (Freshman) 8 (8) |
| Target year | 1st year students | Eligible students | For all majors | | Days and periods Fri.5 |
| Classroom | 23, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. West Wing | | | Language of instruction | Japanese |
| Keyword | 地球人間圏科学関連 / 阿蘇カルデラ / 地震と火山噴火 / 熊本地震と人々の営み / 防災 | | | | |

[Overview and purpose of the course]

約9万年前の大規模噴火により形成された阿蘇カルデラ。その外輪山の一部は、およそ2500年に1度の頻度で発生する布田川断層のずれにより削り取られてきた。2016年熊本地震本震はその一コマである。断層のずれにより形成された峡谷からカルデラ内の湖水が流出したおかげで、カルデラ内には平坦な大地が形成され、現在では4万人を超える人々がこの大地で生活を営んでいる。

本セミナーでは、夏季休業期間中の4日間（8月27日~30日）の熊本阿蘇実習と月に1~2回程度の事前準備セミナーを通して、地震活動や火山噴火についての最新の研究成果を研究者と共有する。巡検では阿蘇地域や益城町を対象に熊本地震の爪痕をめぐり、阿蘇火山において火山観測を実体験する。

火山は地球内部を覗く窓である。本セミナーを通して、大地の営みのダイナミックさを実感していただく。それとともに、人々が火山噴火や地震災害にどのように向き合っているのかを見聞する。なお、本セミナーは文科系学生の受講も歓迎する。このセミナーが、皆さんが地震や火山を通して地球科学を学ぶことのできる貴重なチャンスと考えるからである。

[Course objectives]

理工系の学生は、火山噴火や地震の研究がどのように行われているか、実際のデータから火山活動を評価する手法を学ぶことができる。文科系の学生は、火山噴火や地震の研究が何を目標としているかを学び、火山災害や地震災害の実情と理工系研究だけでは解決できない問題の所在を理解する。

[Course schedule and contents]

このセミナーは夏季休業期間中に実施する実習と、月に1~2回程度の京都で行う事前学習会（金曜5限）からなる。事前学習会は大倉が担当し、開催日は受講者と相談する。

事前学習会の内容は、熊本地震の概要、火山噴火とその観測についての概要などである。また、受講生が、文献やインターネットなどで収集した情報に基づき、発表をする。巡検の詳細も事前学習会で説明する。

実習は、8月27日~30日の4日間に熊本県阿蘇郡南阿蘇村の京都大学火山研究センターに宿泊しておこなう。阿蘇山周辺で実際の火山観測を体験し、熊本地震の地震断層や被災地を訪れる(火山観測は噴火警戒レベルに応じ立ち入り規制区域外で実施される)。

ILASセミナー：阿蘇で観る大地の営み(2)

受講許可者は、ILASセミナー第1回（金曜5限）に指定された場所に集合すること。

[Course requirements]

8月27日~30日の3泊4日の阿蘇実習に参加可能であること。

[Evaluation methods and policy]

事前学習会への出席と発表の状況（40点）、実習への参加とレポート提出の状況（60点）で評価する。8月27日~30日の実習への参加は必須。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

事前学習会において、自分で報告する課題を選び文献調査を行う。課題の方向性については、教員が助言する。

[Other information (office hours, etc.)]

学生教育研究災害傷害保険に入ること。

阿蘇実習にかかる経費は、JR利用で交通費3.3万円+食費であり、合計で約4万円となる（阿蘇実習時には主としてレンタカーで移動するので、交通費はかからない。航空機利用ではもう少し安くなる場合がある）。この経費を学生が負担する。

火山研究センターでの宿泊費は無料である。